

授業科目	女性と装いの文化				単位	1		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	CH10306J		
開講年次	2年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP5-1			
担当教員	神原 ゆうこ							
授業概要	<p>この授業では、女性に関する文化について、装いを中心に様々な角度から考えていきます。現在、日本に住む私たちが考える「女性らしい装い」は、私たちの女性についての考え方を反映しています。したがって、女性らしい装いというのは、時代や地域によっても変化します。多様性の時代だから、現在は女性らしい装いなんて関係ないと思う学生もいるかもしれません。では、みなさんが「女性らしい服装」と聞いたときに、思い描く服装はどれだけ多様でしょうか。この授業では、実際にみなさんが当たり前だと思っていることを、ディスカッションやワークシートの記入で確認しながら、講義を進めていきます。</p> <p>多くの社会の男性と女性に、それぞれ望ましい装いが存在してきた歴史をふりかえると、現在、私たちが自由だと思っている社会は、それほど自由ではないかもしれません。女性の装いと文化を通して現代の世界を考えることを目指したいと思います。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の装いと文化についての基本的な歴史と、ジェンダーに関する基礎知識を身に着ける。</li> <li>・身に着けた考え方・知識を用いて、自分の考え論理的に説明することができる。</li> <li>・これまでの自分の価値観と知識を相対化し、現代社会を問う力を養う。</li> </ul>							
達成度評価								
評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	40	20	0	30	10	100	
知識・理解 (DP1-1)	0	40	20		20		70	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)					10	10	30	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
女性の装いと文化についての基本的な歴史と、ジェンダーに関する基礎知識を身に着け、これまでの自分の価値観を相対化する。講義で身に着けた知識や考え方をを用いて、自分の考え論理的に説明することができる。				女性の装いと文化についての基本的な歴史と、ジェンダーに関する基礎知識を身に着ける。講義で身に着けた知識や考え方をを用いて、自分の考えを説明することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間	

				(分)
1	テーマ:衣服から考える女性1～本授業の導入～ 「女性の装い」とはそもそもどのようなものなのか、現在と過去の世界の衣服を参照しながら考えます。	講義・ワークシート 記入・ディスカッション	講義内容をしっかり復習すること。 次回の授業のための課題を課すので準備すること。	60
2	テーマ:衣服から考える女性2～異性装について～ 多くの社会で異性装はタブーとされてきました。この点から女性と衣服について考えます。	講義・ワークシート 記入・ディスカッション	講義内容をしっかり復習すること。新聞や雑誌の記事など、関連するテーマの文章に日常的に目を通し、ディスカッションの準備をすること。	60
3	テーマ:社会のなかの性別 女性とは社会のなかでどのように定義されてきたでしょうか。様々な社会における「女性らしさ」について考えます。	講義・ワークシート 記入・ディスカッション	これまでの講義内容をしっかり復習し、小テストに備えること。	60
4	テーマ:階級と装い これまでの授業の確認テストのあと、衣服を考えるうえでもう一つ重要なポイントである、階級について考えます。	小テスト・講義	講義内容をしっかり復習すること。新聞や雑誌の記事など、関連するテーマの文章に日常的に目を通し、ディスカッションの準備をすること。	60
5	テーマ:衣にたずさわる女性 美しい衣服を作ることが女性の美德とされてきた社会は世界各地にあります。衣服を作ることと女性について考えます。	講義・ワークシート 記入・ディスカッション	講義内容をしっかり復習すること。新聞や雑誌の記事など、関連するテーマの文章に日常的に目を通し、ディスカッションの準備をすること。	60
6	テーマ:衣を消費する女性 衣服をつくる時代は終盤を迎え、衣服は買う時代になりました。このことは女性にとって、どのような意味を持つでしょうか。	講義・ワークシート 記入・ディスカッション	これまでの講義内容をしっかり復習し、小テストに備えること。	60
7	テーマ:あるべき女性の身体 時代の変化のなかで「理想の女性像」はどのように変化してきたか振り返ります。第4回の以降の授業内容について小テストも行います。	講義・小テスト	講義内容をしっかり復習すること。新聞や雑誌の記事など、関連するテーマの文章に日常的に目を通し、ディスカッションの準備をすること。	60
8	テーマ:多様性の時代の女性(まとめ) 現代世界における衣服・装いに関する社会問題を取り上げながら、これまでの講義を振り返ります。	講義・ディスカッション	レポート執筆に生かせるよう、講義全体の内容を再度復習すること。	60
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	記述式のテストやレポート、ワークシートなど書く作業を課します。自分の考えをわかりやすく文章にする能力があると望ましい。			
テキスト	指定しない。資料を配布します。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>(参考図書)</p> <p>服藤早苗ほか(編)2017『歴史のなかの異性装』勉誠出版</p> <p>木村涼子 2013『よくわかるジェンダースタディーズ』ミネルヴァ書房</p> <p>平松裕子 2018『まなざしの装置』青土社</p> <p>そのほか講義中に適宜紹介します。女性のライフスタイルに関する新聞記事などは意識的に読んでおきましょう。</p> <p>高校世界史(近現代)、地理、現代社会の基本知識はあったほうが望ましいので、復習しておきましょう。</p>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	知識を活用し、自分で調べ、考えてみることで、世界の見方を衣服を通してすこし変えてみたいと思います。一般常識とされている知識を疑う視点と柔軟な発想を持つことを心掛けてください。また、流行に敏感でなくても構いませんが、装いにはある程度関心があるほうが望ましいです。			
達成度評価に関するコメント	小テスト2回、最終レポートのほか、講義中にとりくむワークシートの出来、ディスカッションへの参加を総合的に評価します。1回ごとの取り組みが重要になります。レポート執筆については講義中に説明します。			